

高校2年
コミュニケーション
英語Ⅱ

LESSON6

Ueno Takahiro: The Dancer in Me

学校全体の取組

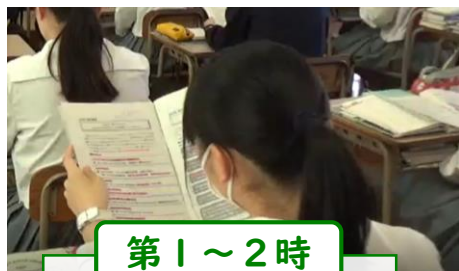
「主体的・対話的で深い学び」
の視点に基づく授業改善

単元の流れ

単元のポイント

本単元では、生徒が、プロダンサーの上野貴博氏の自伝的文章を読むことで、「やりたいことを追い求めること」について考え、将来の夢等について英語でディスカッションを行う。その中で、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を伸ばすことができるようにする。

※鹿本高校CAN-DOリスト【話すこと】「理由を述べながら抽象的なことや自分の気持ちを表現することができる。」



第1～2時

本単元のテーマや、英語でのディスカッションの進め方を知り、単元の見通しを持つ。



第3～6時

- ① 読んだ内容や自分の将来の夢に関連するテーマで、英語でのディスカッションを行う。
- ② 振り返りの時間において、学習を通しての自らの学びや考えの変容を自覚する。



第7時

本単元で学んだ内容（本文の内容や技能等）を、演習等を行うことにより振り返り、自らの学びの変容や成長を実感する。

- ① 英語でのディスカッションの進め方を具体的に示す。また、他者の存在を寛容に受容し、多様な価値観を互いに認め合うことができるようにする。
- ② キャリア形成に関連するテーマを扱ったディスカッションを単元内で複数回設定することにより、生徒が自分自身と向き合いながら自らの考えを持つことができるようにする。
- ③ 毎時間振り返りの時間を設定し、振り返りの項目を工夫することで生徒が自らの学びや考えの変容に気付くことができるようにする。

指導項目

※学習指導要領（平成30年告示）解説外国語編英語編に基づく

エ 話すこと[やり取り]

（ア） 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。

評価について

授業で使用したワークシート及び振り返りシート、授業で実施するディスカッションの観察を基に、本文の内容理解、英語のディスカッションについての進め方の理解及び技能の向上、自らの考えの変容について評価する。

目指す生徒の姿

- 「考える」習慣を持つことができる。
- 自分の意見を伝えることができる。
- 授業で達成感を味わうことができる。

高校2年
コミュニケーション
英語Ⅱ

LESSON6

Ueno Takahiro: The Dancer in Me

学校全体の取組

「主体的・対話的で深い学び」
の視点に基づく授業改善

授業の流れ

授業のポイント

今回の単元において、本文を扱う授業（第3～6時）を、生徒の活動を中心にして、ほぼ同じ展開となるようデザインした。生徒が「聞く」「読む」「話す」の技能をバランスよく使いながら、中心となる言語活動であるディスカッションにおいて、自分の気持ちなどを理由や具体例を添えて述べるができるようにする。

※鹿本高校CAN-DOリスト【話すこと】「理由を述べながら抽象的なことや自分の気持ちを表現することができる。」



導入

英語でのディスカッションをするためのウォームアップとして、身近な話題でペアトークを行う（やりとり5往復以上）。



展開①

【本文理解】

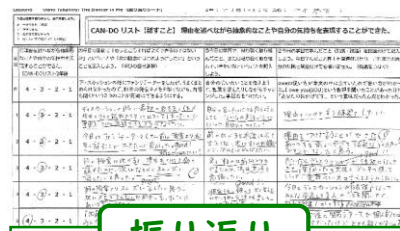
- ① 単語・熟語を音読する。
- ② 本文の概要を把握する。
- ③ 動画を視聴する。視聴後、感想を述べ合う。
- ④ 本文を音読する。



展開②

【中心となる言語活動】

ディスカッションを行う。
（テーマ）
What is the most important for realizing your dream?
※第1時と同じ



振り返り

振り返りシートを記入する。
（振り返りの項目）
CAN-DOリスト
学びの自己調整
粘り強い取組
学習内容の関連付け

- ① 英語でのディスカッションの進め方を具体的に示す。また、他者の存在を寛容に受容し、多様な価値観を互いに認め合うことができるようにする。
- ② ディスカッションのテーマをキャリア形成に関するものにする。ことで、生徒が自分自身と向き合いながら自らの考えを持つことができるようにする。
- ③ 毎時間振り返りの時間を設定し、振り返りの項目を工夫することで生徒が自らの学びや考えの変容に気付くことができるようにする。

指導項目

※学習指導要領（平成30年告示）解説外国語編英語編に基づく

エ 話すこと[やり取り]

（ア） 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。

評価について

英語でのディスカッションにおいて、理由または具体例を述べながら自らの考えを表現しているかを評価する。

目指す生徒の姿

- 「考える」習慣を持つことができる。
- 自分の意見を伝えることができる。
- 授業で達成感を味わうことができる。